

# 令和3年度 5月の補導活動

佐久市少年センター

1	街頭補導実施回数	14回
2	延べ従事補導委員数	31人
3	相談件数	0件
4	補導した少年数	0人
5	声かけ人数	201人



## 5月の補導日誌から

5月6日(木)

専門補導委員 記

**巡回経路** 北中込駅 → パチンコ店 → 根々井団地内公園 → 市民交流ひろば  
→ 近津南公園 → 浅科中学校 → 浅科小学校 → あさしな児童館  
→ こまよせ児童公園

### 補導の様子

北中込駅には、数名の高校生らがプラットホームで列車の到着を待っていた。パチンコ店の駐車場は、広い駐車場内に10数台の車両が駐車、閑散としていた。根々井団地北端にあるベンチが設置されている公園には誰もいなかった。市民交流ひろばの東屋に3名の女性が談笑中。声をかけたところ、看護師を目指す大学1年生とのこと。コロナ禍ではあるが、しっかり勉強して信頼される看護師になりたいと語ってくれた。明るく前向きに将来を見つめ頑張っている女子大生に心からエールを送りたいと思った。近津南公園には、来園している園児・児童はいなかった。あさしな児童館には訪問時50数名の児童が来館していた。館長自ら屋外に出て、大縄跳びの縄を回して児童と触れ合っていた。こまよせ児童公園には誰もいなかった。



5月7日(金)

専門補導委員 記

**巡回経路** 佐太夫町公園 → 水上公園 → 龍岡城駅 → 田口児童館  
→ 佐久総合運動公園

### 補導の様子

雨脚が強かったためか、佐太夫町公園、水上公園には人影が見られなかった。龍岡城駅では、30台ほどの自転車が駐輪してあったが、屋根の中におさまらないものも10台ほどあった。田口児童館では、42名が利用していた。館長さんからは、子どもたちは素直でこちらの呼びかけに応じてくれる子どもが多いという。また、館の利用に変更が生じたときは、その都度連絡をくれる保護者がほとんどで、大変ありがたいとお話であった。佐久総合運動公園では、小雨の中、これから練習を始めようとする高校の陸上部の生徒たちが集まっていた。

5月11日(火)

専門補導委員 記

**街頭啓発活動** 中込駅及び岩村田駅

### 補導の様子

中込駅及び岩村田駅において、駅を利用する高校生や社会人に向けて青少年健

全育成の街頭啓発活動をおこなった。あいさつをしながら、表面に「青少年 育てよう地域ぐるみで」、裏面に「信州あいさつ運動実施中」と表記されたウエットティッシュを配布した。新型コロナウイルス感染防止のため、直接の手渡しは避け、ケースに入れて取りやすい方法に配慮した。両駅とも、高校生が多く、職員の声かけに対してあいさつがあり、受け取る際には感謝の言葉があった。

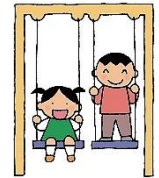
5月12日（水）

専門補導委員 記

**巡回経路** 佐久良公園 → 大型スーパー地下駐車場 → 大伴神社  
→ 望月図書館 → 望月歴史民俗資料館 → 望月バスターミナル  
→ 若駒児童公園

#### 補導の様子

佐久良公園では小学生2人と母親が野球の練習をしていた。風が強かったが、楽しく声をかけ合いながら広い公園を駆けまわっていた。大型スーパー地下駐車場や大伴神社には人の姿はなかった。望月歴史民俗資料館の裏手の通路と望月バスターミナル付近を巡回した。問題となる様子は見られなかった。若駒児童公園では主に小学校高学年の男女児が遊具で遊んでいた。学校のことや将来の夢などを話してくれた。



5月13日（木）

専門補導委員 記

**巡回経路** 一本柳公園 → 若宮公園 → やまぼうし公園 → ねむのき公園  
→ ゆりのき公園 → 岩村田駅 → 枇杷坂公園 → 岩村田児童館  
→ 鼻顔公園

#### 補導の様子

一本柳公園には子どもたちの姿はなかったが、公園に面している庭で2人で話している壮年の方に声をかけると、「今日、午前中は大勢遊びに来ていた。ここは車が頻繁に通るような広い道に面していないので、遊んでいるのを安心して見ていられる。子どもは公園の外に飛び出したりするからね。遊び易いのか、長土呂の方からも結構来ているよ」と話してくれた。「これからも見守りをお願いします」とあいさつして別れた。やまぼうし公園では孫を連れた女性が、ねむのき公園では親子2組、4人がくつろいでいた。ベンチの机で勉強をしている子もいた。岩村田児童館では、今日から家庭訪問期間ということで、早くから75人の利用者があった。館内は賑わっていて歓声が響いていた。鼻顔公園では、園児を連れた親子が遊具で遊んでいて、のどかな光景に感じられた。

5月17日（月）

専門補導委員 記

**巡回経路** 中込駅周辺 → 横町公園 → 稲荷山公園 → 下の宮公園  
→ 子ども支援施設（民間） → 平賀新町公園 → 佐久総合運動公園

#### 補導の様子

中込駅周辺の巡回をした。ステッカーは貼付されているが放置自転車と思われる無施錠の自転車があった。下の宮公園には児童13人が遊具で遊んだり、駆けまわったりしていた。傍らで小学校の先生1人が子どもたちの様子を見ていた。先生に伺うと、「今日は家庭訪問日で、放課後になり公園等で子どもたちの様子を見に来ている」と話してくれた。話の途中、元気なあまり、勢いよくブランコに二人乗りをしている子どもを注意していた。野沢にある子ども支援施設（民間）

に寄り、支援をしている 2 人に話を伺った。関係の施設は市内には他に 2ヶ所開所して、今後、市内に新規開所の予定であるという。支援施設は、放課後に支援を必要とする子どもの送迎をおこなって子どもを預かっているという。その後巡回した平賀新町公園と佐久総合運動公園には児童生徒の姿はなかった。

5月19日(水)

専門補導委員 記

**巡回経路** 中嶋公園 → 城山公園 → 野沢会館 → 原公園 → 野沢児童館  
**補導の様子**

城山公園では東屋の中で3人の女子高校生が談笑中だった。学校の様子や部活動、将来の希望などを話してくれた。野沢会館内のチャレンジ(ふれあい)教室を訪問。担当の先生から「今年度の通室児童生徒は25人。小学生10人、中学生15人」と伺った。特別な支援が必要な子どもがいるという。学校へ復帰する子どもがいることや、チャレンジ教室卒業後、進路は定時制や通信制高校へ新たな一歩を進めた生徒がほぼ全員であると伺った。原公園は子どもの姿はなかった。野沢児童館では雨が小止みになったので庭で大勢の子どもが飛び回って遊んでいた。大勢で「あめんぼ」を水たまりで探して大騒ぎしながら保護者の迎えを待っている時間となった。児童館を利用している子どもは、低学年の子どもが多く最近の平均では約80人と伺った。

5月20日(木)

専門補導委員 記

**巡回経路** 成知公園 → 学童保育 → 中込児童館 → 横町公園  
→ 平賀新町公園 → 佐久城山児童館

**補導の様子**

開始時は小雨であったが、次第に雨足が強くなる中での街頭補導活動でした。成知公園には、樹木の下や東屋で雨宿りをしている児童が数名。遊具や公園内で遊ぶ子どもは一人もいなかった。学童保育に立ち寄ったところ、その時点で20数名の児童が来館し、おにぎり・漬物・フルーツのおやつタイム。職員からお話をお聞きすると、「学校から施設まで来る際の交通事故が心配なので、職員が横断歩道で安全誘導をやっています。また、様々な事故防止を図るため、施設の周囲にフェンスを張る計画です」とおっしゃっていた。



中込児童館は、50名程の児童が館内で読書をしたり、談笑したりして過ごしていた。館長からコロナ禍での子どもたちの様子や感染防止のために気を使っておられることをお聞きした。横町公園・平賀新町公園はいずれも来園者なし。佐久城山児童館には、70名以上の児童が来館。うち30名程の児童は、佐久城山小学校の厚意で開放してもらった図工室と体育館で活動しているとのことでした。

5月21日(金)

専門補導委員 記

**巡回経路** 泉児童館 → 泉団地内の公園 → 前山グラウンド → 岸野児童館  
→ 桜井公会場 → 中込駅周辺 → 中込中学校周辺

**補導の様子**

雨足が強くなったり弱くなったりの中の補導活動だった。泉児童館では、利用者は50人~60人というお話があった。4月の後半から利用者が10人ほど増えたようだ。館長さんに案内され館の裏手へ行くとミニトマトの苗が10本ほど

植えられていた。子どもたちが外で遊んでいる時、好きにとって食べられるようにしたいという思いからだ。子どもたちの笑顔が想像できる。月1回の館の行事も去年はほとんど中止にしたが、今年は感染対策をしながら縮小して行っているとのこと。ここにも子どもたちに少しでも楽しんでもらいたいという思いが感じられた。学校帰りの子どもたちに車ですれちがったが、泉団地内の公園、前山グラウンドには誰もいなかった。岸野児童館では、利用者は低学年中心に30人前後。コロナ禍前は50人程の利用者がいたので、祖父母の協力もあって利用者減につながっているという。中込中学校では、雨の中サッカー一部が部活動に精を出していた。

5月24日(月)

専門補導委員 記

**巡回経路** 若宮公園 → 市民交流ひろば → 赤岩公会場  
→ 中佐都児童館 → 一本柳公園

**補導の様子**

若宮公園は誰もおらず。市民交流ひろばには未就学の子どもを連れた家族が何組かおり、大型の滑り台やボルダリング等の遊具で楽しんでいた。同ひろばの管理人さんにお聞きしたところ、「前日、『市民交流ひろばガーデンピクニックフェスタ』が開催、ファミリー写生大会や謎解きのスタンプラリーなどのイベントに大勢の方が参加、盛況だった。」とのこと。赤岩公会場は、児童がゲームをしているのを過去数回見かけたので立ち寄ったが児童の姿はなかった。中佐都児童館は、訪問時約60名の児童が来館し、館内で読書をしたり一輪車をしたりして過ごしていた。一本柳公園には2名の児童が遊んでいた。



5月25日(火)

専門補導委員 記

**巡回経路** 橋場公園 → 下越児童館 → 青沼児童館 → 切原児童館  
→ 白田児童館 → 下の宮児童公園

**補導の様子**

橋場公園は、利用者がいなかった。下越児童館では、あまりに静かなのでお聞きすると、火曜日は2年生が6時間授業なので、まだ来ていないとのことであった。田口小学校児童の利用者がほとんどだが、学校からの距離がありそうで小学生も大変だなあと感じた。低学年中心に15名程が利用しているという。青沼児童館では20名、切原児童館では11名が利用していた。体育館で一輪車で遊んだり、宿題をやったりと子どもたちの元気な声や姿で活気があった。白田児童館では、庭でサッカーを楽しんでいる児童の声が聞こえてきた。ゴールを目指すパスやドリブル、フェイントが上手で感心してしまった。館の利用者は、4月末まで30名程だったが、今は40名を超えるくらいに増えているという。下の宮児童公園では、保護者に見守られて、14名の児童、園児が思い思いに遊んでいた。

5月26日(水)

専門補導委員 記

**巡回経路** 志賀地区グラウンド → 東児童館 → 鼻顔公園 → 平根児童館

**補導の様子**

志賀地区グラウンドでは、少年野球の練習の準備が行われていた。地域の商店主でもある監督は、「26名の児童とは日頃から十分な意思疎通をおこなっていて学習と野球の両立をめざすことを伝えている」と確かな面持ちで語ってくれた。

東児童館には男女半々の約 30 人の利用があった。多くの子どもがドッジボールを楽しんでいた。鼻顔公園では1人の園児が色々な遊具に挑戦している姿を見守っている母親と話ができた。親が静かに見守っていることで、子どもは難しいと思える遊具に挑める心が育つのだらうと感じた。平根児童館では約 30 人が利用していた。庭に 15 人が出て砂場遊びや数種類の昆虫の観察をしていた。館長さんに伺うと、昆虫は児童館の近くで見つけて、子どもたちが大切に育てているとのこと。見守っていて微笑ましく感じられた。



5月27日(木)

専門補導委員 記

**巡回経路** 岩村田児童館 → 中央公園 → 小田井児童館 → 高瀬児童館  
**補導の様子**

岩村田児童館の6月に入ってから利用者は70人~80人。その内1年生が30人ほどで今年が多いという。1年生はドッジボールが好きで、訪問時も体育館で歓声をあげながら夢中になって遊んでいた。中央公園は雨のためか、誰もいなかった。小田井児童館でも例年より1年生が2倍近く増えて、20人ほどの利用者がいるようだ。小学校からバスでまとまって来館するそうなので、交通安全に関しては安心できると感じた。館長さんは「コロナ禍で外部講師を呼んでの行事ができないのが寂しい」と語っていた。高瀬児童館では、体育館で何人もの低学年の児童が器用に一輪車乗りをしていた。数週間で乗れるようになるという。子どもたちの習得の早さには驚くばかりだ。館長さんは、縄跳び、砂遊び、折り紙、積み木遊びと、とにかく高学年の児童が小さい子の面倒をよく見てくれ、遊びも工夫してくれるのでとても助かっていると話してくれた。

5月28日(金)

専門補導委員 記

**巡回経路** 野沢・中込地区の通学路及び公園(佐太夫町・横町・橋場・中嶋・原・城山)  
**補導の様子**

野沢・中込小の通学路を重点に街頭補導活動を実施。また、付近の公園に立ち寄った。両小学校の下校時間帯で、大勢の児童が家路に向かっていった。一人で歩いている子や数人で歩いている子など下校の様子はまちまちであったが、車道へのはみ出し、ふざけあう等の危険な行為をする子はいなかった。中嶋公園には、父親と男子児童がボール遊び、他に老人がベンチで読書中。自転車で下校途中の二人連れの女子高校生に声かけ、「こんにちは」と明るくあいさつが返ってきた。原公園には、幼児と母の親子と『虫捕り網』を持っている児童が2人。「コガネムシを採っている。」とのこと。城山公園には、男子高校生数人がボール遊び。他の公園には人影はなし。梅雨入り前の穏やかな夕景の中での活動だった。

5月31日(月)

専門補導委員 記

**巡回経路** 佐久良公園 → 大型スーパー地下駐車場 → 大伴神社 → 望月公園  
→ 望月バスターミナル → 若駒児童公園 → 望月児童館  
**補導の様子**

佐久良公園には、子どもの姿は見えなかった。大型スーパーの地下駐車場、大伴神社、望月公園、望月バスターミナルを巡回したが、出会う人はいなかった。

若駒児童公園で2人の姉弟の児童が母親に見守られながら遊んでいた。遊具が少し雨粒で濡れているのを気にしながらも、声をあげて夢中になって動き回っていた。雨があがっている少しの間でも子どもを遊ばせたいという、母親の気持ちを感じた。望月児童館へ着くとほぼ同時に雷鳴があり、庭で遊んでいた子どもが室内に移動していった。室内では大勢の子どもが、宿題や各種のゲームをして楽しんでいた。当日は低学年児童を中心に約30人弱ということであった。4月から勤務している職員は、「特別な支援が必要な子どもが目立つ。個々の子どもの様態が異なり、困っている子どもへの適切な見守りと支援をしている」と、具体的な様子を説明してくれた。



## ◀5月の補導を終わって。 専門補導委員▶

世界的な人気絵本『はらぺこあおむし』で知られる米国の絵本作家エリック・カールさんが5月下旬に亡くなった。あおむしが果物や葉っぱを食べて美しい蝶になる絵本である。日本でも人気で毎晩子どもにせがまれて読み聞かせをした方もいるのではないのでしょうか。かつて、彼が日本の子どものために発したメッセージがあります。「忘れないで欲しいのは、楽しむこと、遊ぶこと、そして自分であること！」…子どもの成長を見守りたいと思います。

6月になり、地域の街頭補導活動が始まりました。一期一会の子どもを無理なく自然体で見守り、時には声かけをしたいものです。委員の皆さまにおかれましては、多事多忙の時間帯での街頭補導活動となりますが、事故やけがをしないように、よろしく願いします。

### 〔事務局から〕

- 1 5月14日（金）に開催した街頭補導活動に係る研修会へご出席いただきありがとうございました。お配りした資料を今後の活動にご活用ください。
- 2 第46回長野県青少年補導活動推進大会について  
今年度は7月8日（木）に大町市で開催する予定でしたが、開催日より中止の連絡がありました。
- 3 コロナ禍での街頭補導活動について  
6月5日に佐久圏域の警戒レベルが「4」から「3」に引き下げられました。県内でも感染力が強い変異株が発見されておりますので、引き続き十分な感染予防対策が必要となります。
- 4 「街頭補導活動欠席」の連絡については、佐久市少年センターTel 62-0671 又は各班の班長（理事）さんへ連絡をしてください。